

## 平成27年度 第12回江別駅周辺地区土地利用検討委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成28年3月10日（木） 午後6時00分から午後6時40分

場 所：江別市民会館 31号室

出席委員：佐々木博明委員長、加藤喜久子副委員長、安孫子建雄委員、後藤一樹委員、林敏昭委員、福本庸委員、湯浅國勝委員、工藤多希子委員、龍田昌樹委員（計9名）

欠席委員：阿部晃治委員、高野喜世志委員、伊藤真理子委員、（計3名）

事務局：北川企画政策部長、三上次長、千葉政策推進課長、佐藤都市計画課長、木野本政策推進課主査、竹下政策推進課主任、廣瀬計画係長

### 会議概要

#### 1 開会

#### 2 議事

##### （1）報告書（案）について

###### 【資料説明】

本日の会議の進め方について、事務局から説明。

###### 【質疑】

##### ○佐々木委員長

本日の進め方について説明があった。

前回の当委員会での検討を踏まえ、再修正を行った報告書（案）が提示された。

前回から修正された箇所は赤字で表記されている。

本日は、この、報告書（再修正案）を基に確認を行い、当委員会の検討結果として、最終的な報告書を取りまとめることとしたいがよろしいか。

（了）

そのように確認したので、議事に入る。

最初に報告書（再修正案）について事務局から説明願う。

###### 【資料説明】

「江別駅周辺地区土地利用検討委員会報告書（再修正案）」について、事務局から説明。

###### 【質疑】

##### ○佐々木委員長

ただいま、事務局から一括で説明があった。

目次の順に確認を進めることとしたいがよろしいか。

（了）

「Ⅰ 江別駅周辺土地利用検討の目的」（3、4ページ）について

それでは、まず「Ⅰ 江別駅周辺土地利用検討の目的」について確認する。

前回の委員会の意見に基づき、初めに江別駅前周辺の問題、次に江別小学校の跡地、最後に土地の活用という順に記載を修正している。

○加藤副委員長

3ページ3行目に「人口減少、高齢化が進んでいます。」とあり、また、9ページ下段の図を見ると、条丁目の高齢化率は40%を超えている。

このことは、条丁目地区に福祉施設があることに起因するものか。

○事務局

9ページの高齢化率には、福祉施設の入居者も反映されている。

○加藤副委員長

江別地区の高齢化率は、市全体に比べると低くなっており、高齢者が多く住む福祉施設があることで、地区の高齢化率に与える影響は小さくないものと考えられる。

○佐々木委員長

他に何かあるか。

○龍田委員

実際、高齢者は多いので、このままの表現で構わないと思う。

○加藤副委員長

高齢化は全体的に進んではいるとは思う。

○佐々木委員長

それでは、この通りとしてよろしいか。

(了)

「Ⅱ 江別市の都市づくり」(5～6ページ)について

○佐々木委員長

5～6ページに、修正箇所はないが、これでよいか。

(了)

「Ⅲ 江別駅周辺の地域づくり～都市計画マスタープランより～」(7～8ページ)について

○佐々木委員長

7～8ページにも、修正箇所はないが、これでよいか。

(了)

「Ⅳ 江別駅周辺の現状と課題」(9～16ページ)について

○佐々木委員長

9ページ「1. 江別駅周辺の人口動態」の5行目に「北側は、一番町を除き、」と追記している。これでよいか。

○加藤副委員長

9 ページ中段の「江別駅周辺の人口推移」の表を見ると、若草町の人口は、減少していた時期もあるが、近年は増加してきているので、若草町を加えて、「北側は、一番町、若草町を除き、」と修正してはどうか。

○佐々木委員長

そのようにしてよいか。

○安孫子委員

若草町は、住宅開発の影響で人口が増えたものと考えられる。

○林委員

戸建住宅が増えている。

○佐々木委員長

それでは、そのように修正する。

(了)

○佐々木委員長

他にはどうか。

○加藤副委員長

10 ページ「(1) 用途地域について」の4行目に「すでに市街地を」の前に括弧が記載されているが、これに対応した閉じ括弧がないので、修正すべきである。

○佐々木委員長

誤記載なので、修正する。

(了)

他にどうか。

○各委員

なし

○佐々木委員長

9～16 ページの修正箇所を確認する。

9 ページ5行目の「一番町」の後に「若草町」を加え、10 ページ7行目の括弧の誤記載を修正する。

「V 江別駅周辺地区の土地活用の検討」(17 ページ)について

○佐々木委員長

17～23 ページは、当委員会の検討の主要部分になる。

まず、17 ページの「1. 方針」では、はじめに江別駅周辺について、次に江別小学校跡地について、さらに跡地活用について、という流れで文脈が進んでいる。

続いて、「2. 検討対象とする土地の範囲等」では、検討の対象とする土地の範囲を具体的に示している。

最後に、「3」は、検討の進め方について記載している。

以上のとおり、17ページは、大きな修正が加えられているがどうか。  
(了)

「4 土地活用の目指すべき方向性」

「(1) 商業系機能」及び「(2) 業務系機能」(18～19ページ)について

○佐々木委員長

前回の検討結果を踏まえ、18ページでは、字句の統一が図られるよう修正を行った。  
また、19ページでは、同じく前回の検討結果を踏まえ、記載の一部を修正した。  
これでよいか。

(了)

「4 土地活用の目指すべき方向性」

「(3) 住居系機能」及び「(4) 福祉系機能」(20～21ページ)について

○佐々木委員長

20ページでは、字句の統一を行った。  
続く、21ページでは、前回の検討結果を踏まえ、記載の一部を修正した。  
これでよいか。

○加藤副委員長

「客観的評価・実現の見通し」の8行目に「保育等対する」とあるのは、「保育等に対する」が正しい。

また、9行目の「江別小学校跡地での大規模な展開」とあるが、前回の委員会では、「大規模な」という記載を、「単独」にすべきとの意見もあったため、再度、確認したい。

○佐々木委員長

脱字は修正することとして、「大規模な」という表現についてはどうか。

○安孫子委員

9ページの「大規模」については、前回は気にしていない。

○龍田委員

福祉系の施設には、土地の範囲が大規模であるとの意味なので、問題はないのではないか。

○佐々木委員長

では、このままでよいか。

(了)

○佐々木委員長

それでは、脱字の修正のみとする。

「4 土地活用の目指すべき方向性」「(5) その他」(22ページ)について

○佐々木委員長

「(5) その他」についてはどうか。

○加藤副委員長

「①公共施設」の6行目に「こうした公共施設が地域の活性化に結びついたとはいえないと考えられます。」とあるが、ここは「結びついた」より、「結びついている」が適当ではないか。

○龍田委員

日本語の表現として、その方がふさわしい。

○佐々木委員長

それでは、「結びついた」を「結びついている」とする。

(了)

「VI まとめ」(23ページ)について

○佐々木委員長

最後の「まとめ」であるが、構成を「提案」、「実現にむけて」、「展望」と区分し、分かりやすくなるよう整理し、文章表現を見直した。

内容については、大筋で前回から変更していない。

○加藤副委員長

11行目に「多機機能」とあるが、「多機能」が正しい。

また、「実現に向けて」の3行目に「全国にその優位性を発信しながら」とあるが、「発信」は適当であるか。

「宣伝」とすると表現が強すぎるので、「情報発信」が適切と思うが、次の行にも「情報を公開し」とあるので、表現が重複してしまう。

どのような表現が適切か、検討したい。

○安孫子委員

「優位性を示しながら」としてはどうか。

○佐々木委員長

その方が自然と考えるが、どうか。

(了)

○佐々木委員長

他にはどうか。

末尾の「信じています」という表現は適切であろうか。

○龍田委員

私も引っ掛かっていた。

○佐々木委員長

「信じています」よりも、「考えています」や「思っています」など、具体的な方がよいと思うが、「考えています」、「考えます」という表現は、他にも多く使われている。

○工藤委員

前回の文案では、「考えます」となっていた。

○龍田委員

まとめの最後が「信じます」というのは、適切ではないと思う。

○安孫子委員

「信じる」なら主語が必要となる。

○佐々木委員長

「考えます」という表現でもよいが、「考えます」は他にも使われている。

例えば、23ページの9行目や14行目、「提案」の4行目である。

また、「提案」の8行目は、「期待できます」となっている。

○林委員

「思われます」では弱い。

○工藤委員

「期待します」では、どうか。

○龍田委員

他との重複を避けて、「信じる」になったようである。

○後藤委員

ここは、「展望」についての内容である。

○工藤委員

「展望」なので、「期待しています」がよいのではないか。

○龍田委員

望んでいることなので、「信じる」でもよいのかもしれないが、「期待している」の方が、内容には沿っているのかもしれない。

○加藤副委員長

「確信します」はどうか。

○安孫子委員

文章の始まりが、「江別小学校跡地を積極的に活用してくこと」であるので、最後は、「活性化につながります」とし、「信じる」は要らないのではないか。

活用することが活性化につながると言えばよいのではないか。

○佐々木委員長

「信じる」に近いのは、「確信」である。

私達は、そのように強く思っているということで、「確信」はどうか。

○安孫子委員

ここは、委員会のメンバーがそう思ったということであるので、「確信」でよい。

○佐々木委員長

「つながるものと確信します。」とすることでよいか。

(了)

「はじめに」(1ページ)について

○佐々木委員長

最後に、1ページの「はじめに」に戻る。

「はじめに」では、江別駅周辺、小学校の閉校、そして、当委員会が設置され報告書を取りまとめたことを述べ、最後に、学校跡地の活用が進むことで、江別駅周辺地区の活性化につながることを期待すると結んでいる。

ここでは、報告書の提出にあたり、委員会を代表して委員長が述べる形としているがよいか。

(了)

以上で、報告書の検討が終了した。

本日の結果を受けての修正は、委員長に一任いただき、報告書を確定させたいと考えるが、よいか。

(了)

了解をいただいたので、報告書は事務局と共に確定させる。

この江別駅周辺土地利用検討委員会は、報告書(案)の最後にも掲載されている設置要綱の第1条にあるように、江別小学校の敷地及び周辺にある土地、また隣接する公用地の活用方法について検討するために設置されたものである。

この目的に対して、当委員会の結論は、「江別駅周辺地区の土地活用として、江別小学校跡地の複合的な土地活用が実現されることで、地区の活性化につながる」ということであり、本日の委員会で報告書が取りまとまった。

この報告書をまとめたことで、当委員会の役目は果たしたものとして、報告書の提出を持って委員会は解散することとしたいと考えるが、いかがか。

(了)

事務局もよろしいか。

○事務局

(了)

○佐々木委員長

以上をもって、江別駅周辺地区土地利用検討委員会を終了する。

委員の皆様においては、平成26年11月から1年4か月にわたり、審議の進行にご協力いただいたことにお礼申し上げます。

それでは、進行を事務局に返す。

○企画政策部長

佐々木委員長、加藤副委員長、委員の皆様には、一昨年(2014年)の11月から本日まで、12回にわたり、お忙しい中、江別駅周辺地区の活性化に向けた土地の利活用という難しい課題について、熱心にご審議いただいたことに、改めて感謝申し上げます。

この報告を市が受け取った後には、報告の内容を真摯に受け止め、1日も早く江別地

区、江別市全体の活性化につながるような活用を実現していきたいと思っています。

1年4か月にわたるご苦勞に対して、お礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

○事務局

先ほど、ご確認いただいたとおり、本日が最後の委員会となります。

今後、市が報告書の主旨を踏まえて、土地活用策を進めていくなかで、実際に民間事業者などから具体的な提案が出てくることがあった場合には、その提案を審査するため、再度、推薦団体に要請し、委員会を設置することなども考えたいと思っております。

○佐々木委員長

最後になりますが、つたない進行でありましたが、委員の皆さんに度々助けていただいたおかげで、どうにかまとめられました。

今後は、この報告書に基づき、報告の結果を速やかに実行に移していただければと思っています。

(2) その他

- ・各委員からは特になし
- ・事務連絡 報告書手交式の日程について連絡

3 閉会